

目次

はじめに

般若波羅蜜多心經

大樂金剛不空眞実三摩耶經

I 『理趣經』のなりたち

1 『理趣經』とは——3

一 『理趣經』の経題——4

二 不空訳が常用経典となった理由——7

三 修法経典としての『理趣經』——12

四 理趣經曼荼羅——13

五 秘密経典としての『理趣經』——17

六 『理趣經』解釈の問題——19

2 『理趣經』の横造——23

一 全体の構造——29

二 添加の句	35
三 理趣経総説の曼荼羅	36

II 『理趣経』の和訳と解説

序説 説会（説法の場）	41
第一章 清浄世界の大楽	63
第二章 遍照の智慧——証悟	87
第三章 欲望を正しく導く教え——降伏	105
第四章 清純な心に導く教え——觀照	123
第五章 人格の宝を見出す教え——富	139
第六章 正しい行動へ導く教え——実動	155
第七章 世界の真実を見出す教え——字輪	171
第八章 発心は即ち悟りへの道——入大輪	189
第九章 清純な人間形成への働き——供養	205
第十章 怒りの智慧——忿怒	223

第十一章 平等一如の教え——普集	241
第十二章 衆生の目覚め(一)——摩醯首羅 <small>まげしゅら</small>	265
第十三章 衆生の目覚め(二)——七母天	277
第十四章 衆生の目覚め(三)——三兄弟	277
第十五章 衆生の目覚め(四)——四姉妹	277
第十六章 遍照の智慧の体得——各具	297
第十七章 如来との交わり(一)——五秘密	309
第十七章 如来との交わり(二)——むすび	321
称讚流通文	329

III 不空三蔵の『理趣経』解釈

1 『理趣釈』の思想	335
2 理趣経法の儀軌とマンダラ	353

参考文献——364

索引——376